

---

# トリエンナーレ スクール Triennale School

---

第13回 2016.4.16(土)

『アートは社会に耳をかたむける—20世紀前衛運動の始まりから—』  
ゲスト | 白川昌生 (あいちトリエンナーレ2016参加アーティスト)

第14回 2016.5.28(土)

『アジア、沖縄からあいちへ—映画・人・場をつなぐ—』  
ゲスト | 濱 治佳 (あいちトリエンナーレ2016映像プログラムキュレーター)

第15回 2016.6.11(土)

『山田うんとまなぶ花祭—レクチャー&ワークショップ—』  
ゲスト | 山田うん (あいちトリエンナーレ2016参加アーティスト)

会場 | 名古屋市美術館 2階講堂 (第13回) / 定員180名  
愛知芸術文化センター 12階 アートスペースA (第14・15回)  
/ 定員180名 (第14回)、定員100名 (第15回)

日時 | 14:00—16:00 (第13・14回)、14:00—16:30 (第15回)

参加費 | 無料 (申込不要)

当日は開始時刻の30分前から受付を開始し、整理券を配布します。

なお、受付は先着順で行い、定員に達した場合は、入場をお断りすることがございます。

主催 | あいちトリエンナーレ実行委員会

共催 | 名古屋市美術館

# トリエンナーレ スクール Triennale School

トリエンナーレスクールは今年8月11日から開催されるあいちトリエンナーレ2016に向けて、現代アートを楽しみながら学んでいただくレクチャーシリーズ。  
第13～15回は、参加アーティストや映像プログラムのキュレーターがゲストに登場。社会とアートのつながりや、映像プログラムのコンセプトと上映プラン、新作ダンスの発想の源泉となった奥三河地方の花祭の魅力に迫ります。

## 第13回 アートは社会に耳をかたむける —20世紀前衛運動の始まりから—

ゲスト | 白川昌生  
(あいちトリエンナーレ2016参加アーティスト)  
進行役 | 金井直 (あいちトリエンナーレ2016キュレーター)

20世紀芸術の歴史をあらためて振り返れば、自律的なモダニズムとは別の、ジャンル横断性、地域性、生への関心を見いだすことができます。1910年代半ばに起こった芸術運動、ダダや芸術家コロニーの展開を具体的に読み解きながら、その意義や今日の芸術との接点について考えてみましょう。

2016.4.16 (土) 14:00 - 16:00

名古屋市美術館2階 講堂  
定員 180名

共催：名古屋市美術館



白川昌生  
SHIRAKAWA Yoshio

1947年福岡県生まれ。欧州で哲学と美術を学び、83年に帰国。以来、群馬を拠点に、支配的な動向や言説、論理とは別の地域の生と直結する芸術活動を実践。『日本のダダー1920-1970』をはじめ、近現代美術史に関する著作も多い。

## 第14回 アジア、沖縄からあいちへ —映画・人・場をつなぐ—

ゲスト | 濱 治佳 (あいちトリエンナーレ2016  
映像プログラムキュレーター)

2000年より山形国際ドキュメンタリー映画祭に関わり、「アジア千波万波」「沖縄特集」「シマ／島一漂流する映画たち」などを担当してきた濱治佳。山形、東京と沖縄で展開してきた映画・人・場を草の根的につなぐ活動に触れながら、あいちトリエンナーレ2016の映像プログラムのコンセプトや上映プランについて語ります。

2016.5.28 (土) 14:00 - 16:00

愛知芸術文化センター 12階 アートスペースA  
定員 180名



濱 治佳  
HAMA Haruka

山形国際ドキュメンタリー映画祭東京事務局長。文化庁新進芸術家海外研修員としてアルゼンチン、メキシコ、キューバに滞在。アート・プロデュース・ユニット cimarcus、雑誌『las barcas』メンバー。映画配給会社シネマトリックススタッフ。

## 第15回 山田うんとまなぶ花祭 —レクチャー & ワークショップ—

ゲスト | 山田うん  
(あいちトリエンナーレ2016参加アーティスト)  
協力：古戸花祭保存会

花祭は奥三河地方で継承されている霜月神楽の一つで、冬の時期に、太鼓と笛、そして「テホへ」の掛け声とともに、少年の舞、青年の舞、巨大な面を付けた鬼の舞等が夜通しで行われます。この花祭をモチーフに新作を上演する山田うんが、花祭を継承する保存会から舞を習い、新作について語ります。

2016.6.11 (土) 14:00 - 16:30

愛知芸術文化センター 12階 アートスペースA  
定員 100名



山田うん  
YAMADA Umi

ダンサー、振付家。ダンスカンパニー<Co. 山田うん>主宰。茅ヶ崎市育ち。器械体操、バレエ、舞踏などを学び、1996年より作品を発表。国内、アジア、中東、欧州等で作品制作や公演、ワークショップなどを展開。平成26年度芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞。

**参加費 | 無料(申込不要)** 当日は開始時刻の30分前から受付を開始し、整理券を配布します。なお、受付は先着順に行い、定員に達した場合は、入場をお断りすることがございます。

### | アクセス |

#### ■ 愛知芸術文化センター | 名古屋市東区東桜1-13-2

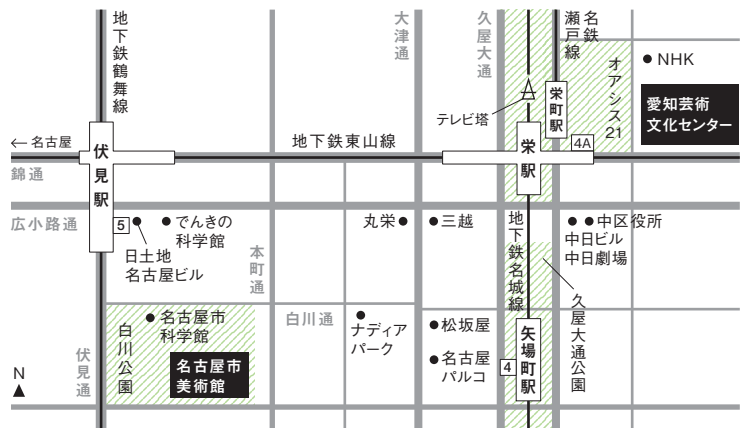
- 東山線または名城線「栄」駅下車、徒歩3分
- 名鉄瀬戸線「栄町」駅下車、徒歩2分  
(オアシス21から地下連絡通路または2F連絡橋経由)

#### ■ 名古屋市美術館 | 名古屋市中区栄2-17-25 (芸術と科学の杜・白川公園内)

- 地下鉄東山線・鶴舞線「伏見」下車、5番出口から南へ徒歩8分
- 地下鉄名城線「矢場町」下車、4番出口から西へ徒歩10分

### | 問い合わせ先 |

あいちトリエンナーレ実行委員会事務局  
〒461-8525 名古屋市東区東桜1-13-2 愛知芸術文化センター6階  
TEL:052-971-6127 FAX:052-971-6115  
公式facebook: /AICHITRIENNALE  
公式Twitter: @Aichi-Triennale #at2016



あいちトリエンナーレは3年ごとに開催する国際芸術祭です。

## あいちトリエンナーレ2016

芸術監督：港 千尋

テーマ：虹のキャラヴァンサライ 創造する人間の旅

会期：2016年8月11日(木・祝)～10月23日(日)

主な会場：愛知芸術文化センター、名古屋市美術館、  
名古屋市内のまちなか、豊橋市内、岡崎市

[aichitriennale.jp](http://aichitriennale.jp)

## あいちトリエンナーレ2016 国際展チケット4月1日発売開始

4月30日までに購入するとさらにおトク!

特別先行前売券を期間限定で発売

| チケット取り扱い |

愛知芸術文化センター内プレイガイド、愛知県美術館、ナディアFF愛知、名古屋市美術館ミュージアムショップ、穂の国とよはし芸術劇場PLAT、岡崎市シビックセンター、チケットぴあ、e+ (イープラス)、ローチケHMV、コンビニエンスストア (サークルKサンクス、セブンイレブン、ファミリーマート、ミニストップ、ローソン) 他  
※チケットの詳細は、あいちトリエンナーレ公式Webサイト (<http://aichitriennale.jp>) をご覧ください。